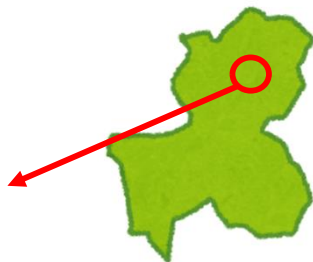


産地パワーアップ事業の取組事例(30年度:計画作成主体:飛騨地域農業再生協議会)(岐阜県)

取組の概要

対象品目: エゴマ(地域特産品)(産地面積3.4ha)
 主な取組主体: 株式会社アグリランド
 農業者1件
 成果目標: 10aあたりの販売額の10%以上増加
 基準(H29年度) 66,000円/10a
 目標(H32(R2)年度) 94,814円/10a
 導入施設等: 生産支援事業
 全自動野菜移植機、普通型コンバイン、エゴマ洗浄機、食品乾燥機各1台

岐阜県
高山市高山地域



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

近年の健康ブームによりエゴマを求める声が強まっている中、当地域では、水田利用の一部として、古くからエゴマの栽培は盛んであるものの、家庭菜園など小面積で栽培されているため、生産量が少ない。



【産地の体質強化に向けた方策】

・機械化体系の導入・構築により、エゴマ生産の増加及び品質向上を図り、売り上げを増加させ、産地の維持形成をすすめる。

産地体制

株式会社アグリランド

栽培面積・生産量の確立

全自動野菜移植機1台
 普通型コンバイン 1台
 エゴマ洗浄機 1台
 食品乾燥機 1台

需要に応じた供給

健康志向による
ニーズの高まり

指導・栽培助言

実需者

飛騨地域再生協議会

・経営所得安定対策
 ・他事業等 集約

関係市村・県・普及センター・JA等

・機械化・生産増産化体系作成
 ・試験栽培 ・政策助言

地域における独自の取組

〈主な取組〉

・生産体系の確立
 ・あぶらえ研究会活動支援
 ※あぶらえ研究会・・・目揃え会、品種検討などを実施

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①機械化によるエゴマの規模拡大
- ②高品質化によるエゴマの販売単価の向上

【事業実施による間接効果】

- ①生産拡大による水田活用の推進
- ②生産量の増加に伴う、安定的な供給による販路拡大

10a当たりの販売額増加
(達成率125.3%)

